

わが社の★Policy

株式会社丸和
代表取締役社長 渡辺 文雄さん

創業65年、県内の多くの建物に関わらせていただいています。福井のインテリア業界のリーダーとしての自覚を持ち、お客様の要望にお応えしていきたいと思えます。そのためには守りだけではなく、チャレンジ精神が大切。今年9月、アセアン地域の優れた建材を紹介する展示会に、日本から出展する20社の1社として参加しました。「玉紙」の和テイストは上々の反応で、東京オリンピック関連で日本への興味や理解が増していけば、海外への市場も広がるのではと感じています。社員にも、常に前向きに挑戦して欲しいと願っています。また、室内空間を扱う職場なので、特に女性のパワーには注目しています。

取材★Report

日本文化の象徴として、注目されている和紙。「地元産業との接点」となって、画期的な技術で新たな役割を担いたい」といった社長の熱い思いで作られた和紙壁紙は、単に壁紙と和紙とが組み合わせられただけでなく、自由な発想と新しい感覚で作られただけでなく、大きな可能性を感じられるものばかりでした。社員の方々も仲が良く、働きやすく温かい会社だなと感じ、このような雰囲気の中からいろんなアイデアが生まれるのだと思いました。



取材★Report

する力はそのまに、水や汚れに強い壁紙が可能になったのです。より調湿効果の高い「さらり」、染めのテクニクで深い色合いを表現した「彩かさね」などすべてが社でのオリジナル。こうしたものを使ってこだわりのある提案をしていきたい。自然志向の方やエコ意識の高い方にアピールできるのではと考えています。



Q4 先輩社員の方、仕事のやりがい？
受注、発注、納品問い合わせの対応など、会社の根幹業務です。発注や納期などミスがないよう、また起きても最小限で処理できるように、日々、日ごろから社内外の協力体制を築くように努めています。
(営業事務 林満秋さん)



和紙で広がるインテリアの可能性。オリジナル商品の開発で新たな客層の開拓も！

私が行ってきました！

Report

同志社女子大学
大久保春香さん



Q1 業務内容を教えてください

カーテン、カーペット、床材などのインテリア商材を業者さんに卸しています。元々は、ふすまや和紙を卸していましたが、30年代の住宅の洋風化に伴い取扱品目を拡大。昭和51年には金沢支店を開設し、現在では福井・石川・富山の3県が活動エリア。県内ではトップのシェアを誇っています。



Q2 インテリア業界の現状と、その中で御社の事業の展望は？

少子化などに伴い住宅余力とその活用が見込まれ、インテリア業界は今後、リフォーム市場の拡大が予想されます。今までの市場は新築が中心でしたが

が、お金をかけて古い家をリノベーションする価値が見直されています。こうした状況では幅広い商品の取り扱いと同時に、個性的な商品が武器になると思います。地元の福井の越前和紙を使ったオリジナルの「玉紙」という壁紙シリーズを、今後の大きな柱に育てたいと考えています。

Q3

「玉紙」について、コンセプトや特長などを教えてください



水に弱く汚れやすいという和紙の弱点を解決するため、水をはじくハスの葉をヒントに、和紙の表面をフィルム状の皮膜で覆うことを思いつきました。これにより、和紙の風合いや湿気を調整



キッチン、テーブルウエアの開発する「おいしいキッチンプロジェクト」に参加して生まれた「和紙のおすそ分けの袋」。

株式会社丸和

<http://www.tamagami.jp/>

本社 福井市学園1-5-25
設立 1949年9月
代表者 代表取締役社長 渡辺文雄
事業内容 壁紙、カーテン、カーペット等のインテリア建材の販売。越前和紙を使った壁紙やインテリアの企画・販売。
資本金:1,000万円
従業員:31人
☎0776-21-2355



2. 和紙の可能性を広げる

チャレンジ精神で開発した新商品。和紙にLEDを添き込んだ「漣き宝」は、風情ある和空間を演出します。



1. 内装のオリジナル素材

越前和紙に撥水加工を施した「玉紙」のシリーズは、オリジナル提案の強力な武器です。



和紙のオリジナル商品たち

丸和の
ココが★すごい!

和紙でこんなことができるんだ!

